

大阪大学 F3D 実装協働研究所の利用ならびに利用料金に関する規程

(趣旨)

第1条 この規程は大阪大学 F3D 実装協働研究所（以下「協働研究所」という。）の利用ならびに利用料金に関する必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 協働研究所は、本学の複数部局と多面的な産学協働活動を推進しようとする外部の企業等（以下「外部機関」という。）とともに本学における研究成果の産業界への活用促進、研究の高度化及び高度人材育成の充実に資することを目的に、協働研究所が設置供用する装置及び実験室等（以下、「装置群等」という。）を本学及び外部機関の研究者に対して利用機会を提供する。

2 別表の装置群等については、適宜変更することがある。

(利用日)

第3条 「装置群等の利用日は次の各号に定める以外の日とする。

- ① 日曜日及び土曜日
- ② 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- ③ 大阪大学が定める夏季一斉休業（8月）
- ④ 12月28日から翌年1月3日まで

2 前項の規定にかかわらず、協働研究所長が特に必要と認めた場合は、臨時に利用、または利用を中止させることができる。

(利用時間)

第4条 装置群の利用時間は、午前9時00分から午後5時00分とする。

2 前項の規定にかかわらず、協働研究所長が特に必要と認めるときは、その時間を延長、または短縮することができる。

(利用者の資格)

第5条 本規程が規定する利用資格者は、協働研究所長が認めた者とする。

(利用の申請)

第6条 装置群等を利用しようとする者は、所定の申請書を協働研究所長に提出し、その許可を得なければならない。

2 協働研究所長は、前項により利用を許可した者に対して、その旨を申請書を受理してから30日以内に通知するものとする。

3 協働研究所長は、第1項の許可に際し必要と認めるときは、当該利用について必要な条件を付すものとする。

4 第1項における許可を得られなかった者は、その異議を申し立てることはできない。また、許可を得られなかったことによる不利益に対して、協働研究所はその責を負わない。

5 第1項の許可を得た者は、装置群のそれぞれの利用に関する責任者（以下「利用責任者」という。）となる。

6 利用責任者は、利用の許可を得た後において、利用責任者、施設の利用にかかる関係者（以下「共同利用者」という。）、利用日時等を申請の内容に変更が生じた場合は、協働研究所に速やかに変更の旨を申し出て、その許可を得なければならない。

7 協働研究所所長は、装置群予約状況、装置群不具合、装置群メンテナンス、その他予期せぬ事態が発生した等の事由で装置群が利用困難な場合、利用日時を変更・取消することができる。利用日時変更・取消については、可能な範囲で利用責任者の意向に沿う調整を行うこととする。

第7条 利用責任者は装置の利用に際して、協働研究所が利用する大学連携研究設備ネットワークに必要な事項を記入し、アカウント登録を行わなければならない。

(利用の形態)

第8条 装置群の利用の形態として、次の各号を定める。

- ① 初回利用 初回装置使用時、協働研究所員が講習を行う場合
- ② 自主利用 利用責任者または共同利用者自らが分析・測定を行う場合（ただし、自主利用は、協働研究所員の安全衛生の指導、施設の利用方法の説明を受けた後、協働研究所員が認めた者のみ使用することができる。）
- ③ 依頼利用 協働研究所員に依頼して分析・測定を行う場合

(利用責任者の責務)

第9条 利用責任者は装置群等の利用に関し、次の各号に定める事項を遵守し、適正に利用しなければならない。

- ① 放射性物質の分析は行わない。
- ② 人体に有害、もしくは施設を汚染するような危険物質は持ち込まないこと。
- ③ 利用を許可された装置群、施設に関して安全衛生法を遵守して利用すること。
- ④ 利用を許可された装置群等、施設及び備品等の保全に努めること。
- ⑤ 利用を許可された目的以外に使用しないこと。
- ⑥ 利用を許可された装置群等を使用する際、協働研究所の装置利用記録簿に記録を行うこと。
- ⑦ 利用を許可された装置群等及び備品等を他の者に一部または全部転貸しないこと。
- ⑧ 利用を許可された装置群等及び備品等に特に手を加えて原状を変更しないこと。ただし、協働研究所長が許可した場合を除く。
- ⑨ 利用を許可された装置群等及び備品等に故障あるいは異常が見られた場合は、直ちに使用を停止し、その内容を記録、速やかに協働研究所員に報告すること。
- ⑩ 協働研究所からの実績調査等があった場合には、速やかに協力すること。
- ⑪ その他、協働研究所長が定めた事項。

2 前項については、第6条1項で提出する申請書に記載された装置群等、共同利用者にも適用する。

(利用の許可の取り消し等)

第10条 協働研究所長は、次の各号の一に該当する場合、装置群等の利用許可を取り消し、または利用を中止することができる。

- ① 利用責任者が、この規程に違反、または違反する恐れがあると協働研究所長が認めた場合。
- ② 利用責任者が、所定の申請書に虚偽の記載をした場合。
- ③ 協働研究所において、管理上の事由が生じた場合。

(損害賠償)

第11条 利用責任者または共同利用者がその責に帰すべき事由により装置群等及び備品等を滅失、破損または汚損したときは、その損害を賠償しなければならない。

(原状回復)

第12条 利用責任者または共同利用者が利用を許可された装置群等及び備品等の使用を終えたとき（第10条の規定により利用許可の取り消し、または利用を中止した場合を含む。）は、直ちに原状に回復して返還しなければならない。ただし、協働研究所長が特に認めたときはこの限りではない。

2 利用責任者が原状回復の義務を履行しないときは、協働研究所長は利用責任者の負担においてこれを行うことができる。この場合、利用責任者は協働研究所長に異議を申し立てることはできない。

(安全衛生管理)

第13条 利用責任者および共同利用者は、協働研究所における安全衛生管理について、関係する法令及び本学の諸規定（協働研究所利用方法も含む。以下「法令等」という。）を遵守するとともに、法令等に基づき協働研究所長が行う指示に従わなければならない。

2 利用責任者および共同利用者は、騒音、振動、水質汚濁及び悪臭等の環境問題が発生しないよう、予防措置を講ずるものとし、問題が発生した場合は利用責任者の責任において速やかに解決のための措置を講じなければならない。

3 前項の問題が解決されない場合は、本規程第10条に基づき、協働研究所長は装置群の利用を取り消し、または利用の停止をさせることがある。

4 利用責任者は、協働研究所の運営に影響を及ぼすものと協働研究所長が判断する重大な事故等が発生した場合に、協働研究所長が関係機関にその旨報告することに同意するものとする。なお、利用責任者および共同利

用者は、協働研究所長が作成する報告書に協力しなければならない。

- 5 利用責任者及び共同利用者は協働研究所の装置群等を利用するにあたり、本条に定める内容を遵守する旨を協働研究所の所定の誓約書を提出しなければならない。ただし、協働研究所の施設内に立ち入らない者からの提出を要しない。

(不正行為の防止)

- 第14条 利用責任者及び共同利用者は、不正行為を行ってはならない。また、他者による不正行為の防止に努めなければならない。
- 2 前項の「不正行為」の定義は「大阪大学における公正な研究活動の推進に関する規程」における定義に準ずる。
- 3 利用責任者及び共同利用者は、第1項に定める内容を遵守する旨を協働研究所の所定の誓約書を提出しなければならない。

(利用料金)

- 第15条 利用責任者及び共同利用者の所属する利用機関（以下「利用機関」という。）の経理責任者は、利用責任者および共同利用者の装置および施設等利用に要する費用（以下「利用料金」という。）を納入するものとし、その金額は別表に定める額とする。
- 2 利用料金は、別表（F3D実装協働研究所装置利用料金基本表）を各年度の4月、7月、10月、1月の初日から3か月後の末日までを単位とする四半期ごとに分割集計し請求を行う。
- 3 利用料金の請求は、大阪大学産業科学研究所から利用機関の経理責任者に請求書の送付をもって行う。
- 4 装置群利用1時間未満及び装置群利用1時間を超える場合の1時間未満の端数については、それぞれ1時間の装置利用として利用料金を算出するものとする。
- 5 初回または事前講習1時間未満及び初回または事前講習1時間を超える場合の1時間未満の端数については、それぞれ1時間の初回または事前講習として利用料金を算出するものとする。
- 6 装置群は自主利用1時間の利用料金が4,000円未満のものをA群、4,000円以上のものをB群と定める。ただし、別表（F3D実装協働研究所装置利用料金基本表）に規定するI-102実装プロセス室13、I-206信頼性評価室9～13の装置は大型かつ長時間の運転を必要とするためB群とする。
- 7 A群、B群のそれぞれ年間利用料金の上限はA群：2,000,000円、B群：4,000,000円とする。また、A群B群の年間利用料金の合計は4,000,000円を上限とする。ただし、依頼利用のみの場合は上限を設けない。
- 8 年間一括制で装置群利用を行う場合は、A群：2,000,000円、B群：4,000,000円、A及びB群：4,000,000円とし、利用開始月（原則4月）に大阪大学産業科学研究所から利用機関の経理責任者に請求書の送付をもって行う。
なお、特別な事情がある場合に限っては、半年間一括制の装置群利用を認め、その場合は、A群：1,000,000円、B群：2,000,000円とし、利用開始月（原則4月又は10月）に大阪大学産業科学研究所から利用機関の経理責任者に請求書の送付をもって行う。
- 9 大学・公的研究機関の装置群利用は、別表（F3D実装協働研究所装置利用料金基本表）の2/3に減じて10円単位で四捨五入した利用料金を請求する。
- 10 大学・公的研究機関のA群、B群のそれぞれ年間利用料金の上限はA群：1,330,000円、B群：2,660,000円とする。またA群B群の年間利用料金の合計は2,660,000円を上限とする。ただし、依頼利用のみの場合は上限を設けない。
- 11 大学・公的研究機関が年間一括制で装置群利用を行う場合は、A群：1,330,000円、B群：2,660,000円、A及びB群：2,660,000円とし、利用開始月（原則4月）に大阪大学産業科学研究所から大学・公的研究機関の経理責任者に請求書の送付をもって行う。
なお、特別な事情がある場合に限っては、大学・公的研究機関の半年間一括制の装置群利用を認め、その場合は、A群660,000円、B群1,330,000円とし、利用開始月（原則4月又は10月）に大阪大学産業科学研究所から利用機関の経理責任者に請求書の送付をもって行う。
- 12 第1項並びに第7項から第11号に定める利用料金の請求額は、請求単位で算出した利用料金の合計額に消費税（10%）を加えて得た額とする。
- 13 利用料金については、改定を行うことがある。

(消耗品等)

- 第16条 装置群等で使用する消耗品及び材料等は原則として、利用責任者が準備し、負担するものとする。

2 協働研究所にある消耗品及び材料等を使用した場合は、その実費を負担するものとする。

附 則

この規程は、令和2年5月21日に施行し、令和2年4月1日から適用する。

附 則

この改正は、令和2年9月17日に施行し、令和2年9月1日から適用する。

F3D 実装協働研究所装置利用料金基本表
 価格はすべて税別価格

① I-102 実装プロセス室							
	群	装置名	メーカー	民間企業等			
				初回 (講習料込)	自主	依頼	単位
1	A	スイッチパルスレーザー 加工装置 (LVE G1010 532, Nano)	Spectronix Corporation	10,000 円/時間	2,000 円/時間	10,000 円/時間	時間
2	A	マルチロステーション (MRS 850H)	奥原電機	9,000 円/時間	2,000 円/時間	9,000 円/時間	時間
3	A	ゴールドボールボンダ (4524 D)	Kulicke & Soffa Industries	8,000 円/時間	3,000 円/時間	8,000 円/時間	時間
4	A	金属顕微鏡 (BX60M)	OLYMPUS	5,000 円/時間	500 円/時間	5,000 円/時間	時間
5	A	光学顕微鏡 (DM2700 M)	Leica	5,000 円/時間	500 円/時間	5,000 円/時間	時間
6	A	光学顕微鏡 (Z16 APO)	Leica	5,000 円/時間	500 円/時間	5,000 円/時間	時間
7	A	超深度カラー 3D 形状測 定顕微鏡 (VK-9500, 9510)	KEYENCE	10,000 円/時間	3,000 円/時間	10,000 円/時間	時間
8	A	卓上型太線ウェッジボン ダ (HB30)	TPT	9,000/時間	2,000 円/時間	9,000 円/時間	時間
9	A	分光干渉レーザー変位計・ 高精度形状測定システム (KS-1100, SI-F01, SI- F01U)	KEYENCE	10,000 円/時間	3,000 円/時間	10,000 円/時間	時間
10	A	ホットプレート (NINOS ND-1A)	ASONE	5,000 円/時間	500 円/時間	5,000 円/時間	時間
11	A	プリンカップ試験機	自作	5,000 円/時間	2,000 円/時間	5,000 円/時間	時間
12	B	Uni-temp (RSS-450-210-FA)	UNITEMP	8,000 円/時間	16,000 円/4 時間	8,000 円/時間	時間
13	B	モールド機	TOWA			100,000 円	1 日

②		I-202 力学・熱・物性評価室		民間企業等			
	群	装置名	メーカー	初回 (講習料込)	自主	依頼	単位
1	A	卓上形精密万能試験機 (AGS X/10kN)	島津製作所	5,000 円/時間	1,000 円/時間	5,000 円/時間	時間
3	A	紫外可視近赤外分光光度計 (V-670ST)	日本分光	8,000 円/時間	2,000 円/時間	8,000 円/時間	時間
4	B	Microforce Testing System (Tytron™ 250)	MTS	10,000 円/時間	5,000 円/時間	10,000 円/時間	時間
5	A	低抵抗率計 (MCP T610)	三菱化学	5,000 円/時間	1,500 円/時間	5,000 円/時間	時間
6	A	卓上型キセノンフラッシュアナライザー (LFA447)	NETZSCH	5,000 円/時間	3,000 円/時間	5,000 円/時間	時間
7	A	3点曲げ試験機 (MMT-100NB-10H)	島津製作所	5,000 円/時間	1,000 円/時間	5,000 円/時間	時間
8	A	フィルム引張試験機 (SM-500N-168)	島津製作所	5,000 円/時間	1,000 円/時間	5,000 円/時間	時間
9	A	差動型示差熱天秤 (TG-DTA)	NETZSCH	8,000 円/時間	3,000 円/時間	8,000 円/時間	時間
10	A	示差走査熱量計 (DSC204H)	NETZSCH	8,000 円/時間	3,000 円/時間	8,000 円/時間	時間
11	A	熱機械分析装置 (TMA-60)	島津製作所	8,000 円/時間	3,000 円/時間	8,000 円/時間	時間
12	B	熱伝導率測定装置 (WG1)	AKL	12,000 円/時間	6,000 円/時間	12,000 円/時間	時間
13	B	熱抵抗測定装置 (WG2)	ヤマト科学	15,000 円/時間	8,000 円/時間	15,000 円/時間	時間
14	B	クリープ試験機 3 連	米倉製作所	10,000 円/時間	5,000 円/時間	10,000 円/時間	時間
15	A	あわとり鍊太郎 (ARV-310)	シンキー	4,700 円/時間	1,200 円/時間	4,700 円/時間	時間
16	A	高速遠心機 (冷却あり) (H-201F)	コクサン	5,000 円/時間	1,500 円/時間	5,000 円/時間	時間

③ I-201 非破壊・成膜室							
	群	装置名	メーカー	民間企業等			
				初回 (講習料込)	自主	依頼	単位
1	B	X線 μ -CT測定装置 (XVA-160N/2.8M)	ユニハイトシステム	20,000円/時間	12,000円/時間	20,000円/時間	時間
2	B	ロードロック式室付スパッタ装置 (QAM-4C-SL)	アルバック九州	35,000円/時間	25,000円/時間	35,000円/時間	時間
3	B	スパッタ装置 (E-200S)	キャノンアネルバエンジニアリング	35,000円/時間	25,000円/時間	35,000円/時間	時間
4	A	湾曲イメージングプレートX線回析装置 (RINT-RAPID II)	リガク社	15,000円/時間	3,000円/時間	15,000円/時間	時間
5	B	超音波映像装置 (FineSAT FS300 II)	日立パワーソリューションズ	25,000円/時間	10,000円/時間	25,000円/時間	時間
6	B	カーブトレーサー (CS-3200)	岩崎通信機	15,000円/時間	8,000円/時間	15,000円/時間	時間

④ I-206 信頼性評価室							
	群	装置名	メーカー	民間企業等			
				初回 (講習料込)	自主	依頼	単位
1	B	万能型ボンドテスター (ESR-4000)	Nordson DAGE	12,000 円/時間	5,000 円/時間	12,000 円/時間	時間
2	A	マイクロインパクト (MI-S)	米倉製作所	10,000 円/時間	3,000 円/時間	10,000 円/時間	時間
3	A	小型高温チャンバー (ST 110)	エスペック	10,000+(300* 使用時間) 円	300 円/時間	10,000+(300* 使用時間) 円	時間
4	A	小型高温チャンバー (ST 120)	エスペック	10,000+(300* 使用時間) 円	300 円/時間	10,000+(300* 使用時間) 円	時間
5	A	小型環境試験機 (SH241、SH242)	エスペック	10,000+(500* 使用時間) 円	500 円/時間	10,000+(500* 使用時間) 円	時間
7	A	電気マッフル炉 (KM100)	ADVANTEC KM	6,000+(350*使 用時間) 円	350 円/時間	6,000+(350*使 用時間) 円	時間
9	B	小型冷熱衝撃装置 (TSE 11 A)	エスペック	30,000+(10,00 0*使用日数) 円	10,000 円/日	30,000+(10,00 0*使用日数) 円	日
10	B	小型冷熱衝撃装置 (TSE 12 A)	エスペック	30,000+(10,00 0*使用日数) 円	10,000 円/日	30,000+(10,00 0*使用日数) 円	日
11	B	高度加速寿命試験装置 (HAST CHAMBER)	エスペック	60,000+(10,00 0*使用日数) 円	10,000 円/日	60,000+(10,00 0*使用日数) 円	日
12	B	IGBT、MOSFET、パワー半 導体用試験装置	エスペック	60,000+(15,00 0*使用日数) 円	15,000 円/日	60,000+(15,00 0*使用日数) 円	日
13	B	負荷装置	タマオーム	70,000 円/日	50,000 円/日	70,000 円/日	日
14	B	過渡熱測定システム (T3Ster)	MicReD Hardware Products	20,000 円/時間	6,000 円/時間	20,000 円/時間	時間
15	A	イオンミリング (IM4000)	日立ハイテクノ ロジーズ	(3,500 円*サン プル前処理時 間)+(2,000*使 用時間) 円	2,000 円/時間	(3,500 円*サン プル前処理時 間)+(2,000*使 用時間) 円	時間
16	A	デジタルマイクロスコ ープ (VHX-600)	KEYENCE	5,000 円/時間	500 円/時間	5,000 円/時間	時間
17	A	研磨機		5,000 円/時間	1,000 円/時間	5,000 円/時間	時間
18	A	精密切断 (FINECUT)	平和テクニカ	5,000 円/時間	1,000 円/時間	5,000 円/時間	時間